

京都のミカタ

ミカタとは、市民の見方、くらしの味方という意味を表しています

平成27年度予算に 公明党の主張が反映!!



プレミアム商品券、京都市も発行へ!

26年度補正予算案も上程され、国の緊急経済対策の一環として注目されている「プレミアム商品券」を京都市も発行することが決定しました!

1万円で購入すると1万2千円の買い物ができるもので経済活性化への期待大です。18歳未満の子どもがいる家庭には、1人につき2千円分の割引券が送付されます。

2月20日、京都市会2月定例会が開かれ、平成27年度京都市一般会計予算案などが上程されました。予算案では、高齢者の介護基盤の整備や災害に強いまちづくりなど、公明党議員団が長年主張していた提案が数多く含まれました。特に、国民健康保険料の引き下げなども盛り込まれ、庶民の暮らしを守る予算となっています。3月からは予算委員会が始まります。京都活性化のため、現場第一主義で培った市民目線で価値を創造する議論を重ねてまいります。

子育て支援が前進!

無料アプリ「京都はぐくみアプリ」が実現



「京都で子育てして良かった」と実感できる子育て環境を充実するため、京都市はスマートフォン向けの子育て支援アプリ「京都はぐくみアプリ」の配信をスタートしました。子育て家庭のニーズに合わせた幅広い情報をリアルタイムで提供する最新アプリ。アドレスは、<http://www.kyoto-kosodate.jp/app>です。



特報!

2月定例市会が開会中 (2月20日～3月20日)

本会議代表質疑は、2月26・27日に行われ、公明党からは、湯浅光彦議員(右京区)、吉田孝雄議員(上京区)、国本友利議員(左京区)の3名が2月27日(金)午後から登場します。KBS京都テレビでも生中継の予定。ぜひご覧ください!



だいてう よしとも
大道義知 議員「南区」

**水災害における
行動指針について**

大道義知議員は、災害時に自分で自分を守る対応力を高めるため、地域の特性を踏まえた「水災害時における市民の避難行動」の指針を策定するべきと主張しました。門川市長は、避難準備、避難勧告、避難指示のそれぞれの段階での具体的な防災行動の指針を策定するとともに、避難行動計画の自主的な作成を支援すると表明しました。

子育て支援について

さらに、子育て世代の方々からの声を受け、兄



京都市会定例会議の代表質問で、公明党市会議員団は市民の声を届け、生活実感に裏付けられた政策を提言。平成26年9月議会では9月30日に大道義知議員(南区)、久保勝信議員(山科区)、青野仁志議員(中京区)が、11月議会では11月28日にひおき文章議員(北区)と津田早苗議員(伏見区)が質問に立ちました。



京都動物愛護センター

**動物愛護行政の
推進について**

弟姉妹ができるだけ同じ保育園に通えるよう配慮した入所基準を新しく制度化するべきと訴え、藤田副市長は保育の必要性を数値化する点数制を導入すると答弁しました。

大道義知議員のおもな質問項目

- 水災害時における行動指針について
- 水災害対策の強化と府市連携について
- 和の音楽文化振興の推進とおもてなしの観光振興との融合について
- 動物愛護行政の推進について
- 子育て支援の充実について

また、「市民のチカラ」と協働して殺処分ゼロに向けた取り組みを拡充するとともに、家庭動物相談所の跡地を有効に活用すべきと提案。市長は、京都動物愛護センター開設を機に、動物愛護団体等との連携を深めた譲渡事業を一層推進し、民間活力を生かした跡地活用を検討していくと確約しました。



くぼ かつのぶ
久保勝信 議員「山科区」

**地域包括ケア
システムについて**

久保勝信議員は、地域



地域ケア会議

**高齢者に対する
住宅支援について**

また、高齢者の民間賃貸住宅への入居に関する不安を解消し、居住支援サービスなどを受けられることができるよう、「高齢者すまい・生活支援モデル事業」の充実を求め、市長は「京都市住宅マスタープラン」の中間見直しにおいて、高齢者に対する新たな居住支援策を検討すると述べました。

**生活困窮世帯の
子どもに対する
学習支援について**

さらに、京都市のすべての子どもたちが、経済的な理由から学習面で不利

久保勝信議員のおもな質問項目

- 地域包括ケアシステムについて
- 高齢者に対する住宅支援について
- 次期京プラン実施計画の策定について
- 山科区における交通ネットワークの維持・向上について
- 生活困窮世帯の子どもに対する学習支援について

な状況におかれることがないよう、家庭環境に左右されず、子どもたちの学力が保障される、新たな事業を拡大すべきであると訴えました。



あおの ひとし
青野仁志 議員「中京区」

**今後の景観政策の
方向性について**

青野仁志議員は、中心市街地の景観まちづくり



産寧坂無電柱化

門川市長は、市民や有識者からの意見を重視して、地域ごとの「地域景観づくり協議会」を支援すると確約しました。

**多文化共生の視点に
よるおもてなしに
ついて**

多くの観光客が京都を訪れることを踏まえ、受け入れる事業者が様々な国の文化・宗教・習慣を学び、「真のおもてなし」の模範を示していけるよう行政が支援するべきと訴えたところ、市長は外国人にもわかりやすい「やさしい日本語」の活用や、留学生による母国からの観光客へのガイドなどの取り組みを進めると答弁しました。

**集中豪雨による
浸水被害について**

また、緊急的な浸水対策の重要性を指摘し、京都御苑を所管する環境省と連携するなど、具体的な対策が不可欠であると訴えました。

青野仁志議員のおもな質問項目

- 今後の景観政策の方向性について
- 多文化共生の視点によるおもてなしについて
- 平和・人権教育について
- 集中豪雨による浸水被害について



バラナシ市との調印式

津田早苗議員は、8月
末にインドのバラナシ市

**アジアをはじめとする
国際交流について**



津田早苗議員「伏見区」

と京都市のパートナーシ
ティ提携に向けた調印式
が行われたことを受け、世
界との国際協力を充実す
べきと訴えました。門川市
長はインドや東南アジア
の都市との学術交流をス
タートし、京都の知恵と
経験を活かした協力を進
めていくと答えました。

**世界一安心安全・おもて
なしの京都 市民ぐる
み推進運動について**

「世界一安心安全・おも

てなしのまち京都 市民
ぐるみ推進運動」が、27年
度以降、全行政区でスタ
ートするにあたり、内外の旅
行者や学生が犯罪に巻き
込まれない対策を強化す
るべきと主張。市長は、京
都府警察本部長と世界一
安心安全なまちを目指し、
スピード感をもって推進す
ると答弁しました。(伏見
区と右京区で先行実施)

**ICTを活用した
市民と土木事務所の
協働について**

また、市民との協働に
よる公共施設の維持管理

津田早苗議員のおもな質問項目

- アジアをはじめとする国際交流について
- 世界一安心安全・おもてなしの京都市民ぐるみ運動について
- ICTを活用した市民と土木事務所との協働について
- 子ども医療費助成制度について
- 地域包括ケアシステムについて

について訴えました。市長
は、スマートフォンから道
路や街路樹の破損等の情
報を投稿できるシステム
を27年度に構築し、速や
かに全市に展開してい
くと答えました。



ひおき文章議員「北区」

**人口減少社会への
対応について**

ひおき文章議員は、多
岐にわたる人口減少社会
への対応策を具体的かつ
強力にすすめる第一歩と
して、「京都市少子化対策
条例」(仮称)を策定すべ
きと論じました。門川市
長は、ひおき議員の提言
を来年度策定する次期京
プラン実施計画に反映す
ると答えました。

**コンテンツ産業の
活用について**



京都国際マンガ・アニメフェア

また、これから発展が
期待できる漫画やアニメ

などの「コンテンツ産業」
を活用し、観光産業や伝
統産業の魅力を生み出す
発信すべきであると主張。
市長は、京都を舞台にし
たマンガ、映像などを最大
限に活用し、京都の魅力
を世界に向けて積極的に
発信すると答弁しました。

**障がい者雇用の
促進について**

さらに、障がいのある
方々の一般就労促進を図
つていくとともに、長期就
労に向けた定着への支援
を強力に進めていくべき

ひおき文章議員のおもな質問項目

- 人口減少社会への対応について
- 平成26年度収支見通しについて
- 観光振興条例について
- コンテンツ産業の活用について
- 障がい者雇用の促進について

であると訴えました。市
長は、オール京都体制で
強力にすすめて、福祉施
設から一般企業への就労
を現行の3倍となる
150名を目指す」と表明
しました。

平成26年市会定例会 意見書

【9月議会】

件名	提出党派	会派名						
		公明党	自民党	共産党	民主党	京都党	無所属1	無所属2
奨学金制度の充実を求める意見書	自民、共産、公明、京都、無1、無2	○	○	○	○	○	○	○
「危険ドラッグ」の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書	自民、共産、公明、京都、無1、無2	○	○	○	○	○	○	○
軽度外傷性脳損傷に係る周知及び適切な労災認定に向けた取組の推進を求める意見書	自民、共産、公明、無1、無2	○	○	○	○	○	○	○
聴覚障害者に対する公職選挙のバリアフリーを求める意見書	共産、民主、公明、京都、無1、無2	○	○	○	○	○	○	○
魅力ある地方都市の構築へ向けた施策の推進を求める意見書	自民、公明、京都、無1、無2	○	○	×	○	○	○	○
農業委員会制度・組織改革が真に農業者のためになる改革となるよう求める意見書	自民、無1、無2	○	○	×	○	○	○	○

【11月議会】

件名	提出党派	会派名						
		公明党	自民党	共産党	民主党	京都党	無所属1	無所属2
ヘイトスピーチ(憎悪表現)被害に対する意見書	全会派	○	○	○	○	○	○	○
医療制度に関する意見書	自民、公明、無1、無2	○	○	×	○	○	○	○
「女性が輝く社会」の実現に関する意見書	自民、公明、無1、無2	○	○	×	○	○	○	○
地域の中小企業振興策を求める意見書	自民、公明、無1、無2	○	○	×	○	○	○	○



(注)
公明=公明党京都市議員団
自民=自由民主党京都市議員団
共産=日本共産党京都市議員団
民主=民主・都みらい京都市議員団
京都=地域政党京都党京都市議員団
無所属1=清水ゆう子議員
無所属2=森川央議員

市バスに待望のICカード導入!



平成26年12月24日より、京都市バスにICカードが導入され、市民の利便性が大きく向上しました。本会議や委員会で積み重ねた公明党議員団の提案が結実したものです。

2月13日に議員団が九条車庫を視察し、ICカードの利用状況などを調査しました。



ICカード利用について現地視察

線維筋痛症患者会と意見交換



2月5日、公明党議員団は全国に200万人の患者がおられる原因不明の難病である線維筋痛症の患者会「線維筋痛症友の会関西支部京都部会」の皆さんと意見交換。

外見は健康に見えるために、周囲の人たちに患者さんたちの苦しさや辛さがなかなか理解されにくいという深刻な実態をお聞きしました。



線維筋痛症患者会との意見交換



中京区

青野 仁志

①1期②教育福祉委員会③幹事



左京区

国本 友利

①1期②まちづくり委員会③政調事務局長



右京区

湯浅 光彦

①3期②くらし環境委員会③代表幹事



南区

大道 義知

①6期 ②交通水道消防委員会



伏見区

津田 早苗

①3期②くらし環境委員会③政調副会長



伏見区

曽我 修

①3期②交通水道消防委員会③副団長



上京区

吉田 孝雄

①2期②経済総務委員会③政調副会長



北区

ひおき文章

①6期 ②経済総務委員会



下京区

井上 教子

①4期 ②交通水道消防委員会



山科区

久保 勝信

①3期 ②まちづくり委員会



伏見区

谷口 弘昌

①6期 ②まちづくり委員会 ③団長



西京区

平山よしかず

①2期②教育福祉委員会③政調会長

公明党京都市議員団の顔ぶれ

①期数 ②委員会 ③会派役職



京都いつでもコール
市政情報総合案内コールセンター

市の手続きや制度、イベント、施設に関する問合せにお答えする窓口です。
午前8時～午後9時(年中無休)

●TEL:075(661)3755 ●FAX:075(661)5855

●電子メール(以下のホームページから)

パソコン <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>

携帯電話 <http://www.city.kyoto.jp/koho/m/cc/>

左記の二次元コードから
携帯電話でアクセスでき
ます(一部機種除く)



みなさまの「ご意見」・「ご要望」などを
公明党京都市議員団にお寄せください

●TEL:075(222)3732

●FAX:075(212)3608

●電子メール: komei@lime.ocn.ne.jp

●ホームページ: [公明党京都市会](http://www.city.kyoto.lg.jp)

